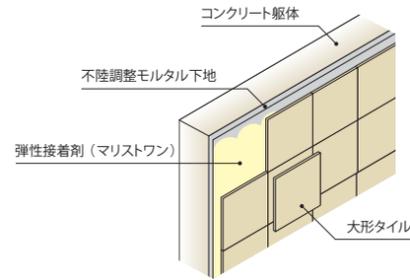


# 施工ガイド

## 大形タイルの施工・推奨工法 [内装壁]

### 『全面弾性接着剤貼り工法』

精度良くこしらえたモルタル・合板またはボード下地の上に、挙動追従性の高い弾性接着剤を5mm高さのクシ目コテで塗布後、貼り付けていく工法です。養生後は目地詰めをします。寒冷地以外ではオープンジョイントも可能です。建物エントランス周辺やファサード等の外壁にも適した工法です。



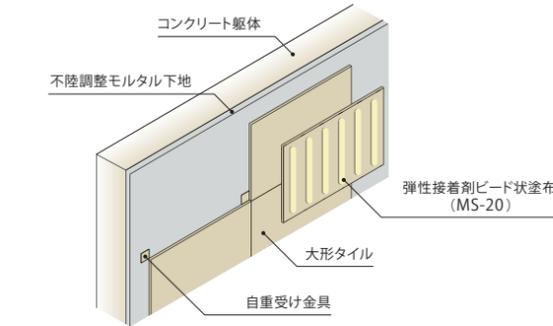
適用範囲	
施工高さ	—
下地条件	コンクリート / モルタル ガラス繊維ネット入りセメントボード 合板: JAS 1類以上 9.5mm厚以上(20kg/m <sup>2</sup> 超えは12mm以上) けい酸カルシウム板: 比重1.0以上 厚さ6.0mm以上の2枚張り
タイルサイズ	900c㎡以下 (300mm角など)
目地幅	3mm以上
仕上がり寸法	タイル厚 (9~13mm) +1~3mm
推奨接着剤	マリストーン

### 『大形タイル有機系接着剤貼り工法』

精度よくこしらえたモルタル・合板またはボード下地の上に、前もって補助金具を付けたタイルの裏面へ挙動追従性の高い有機系弾性接着剤を塗布し押し付けて貼り付けていく工法です。下地にはあらかじめタイル割りに合わせ、タイル自重受け金具を固定しておきます。

目地材はシーリング目地 (変成シリコン) もしくは内装用セメント系目地材 (推奨: タイルメントCG-411) とします。

※打継ぎ目地などの伸縮目地をまたいだ施工はできません。 ※業務用浴室でのMS-20の使用は避けてください。 ※詳細はお問合わせください。



適用範囲	
施工高さ	高さ3m以上の場合は補助金具併用
下地条件	コンクリート / モルタル ガラス繊維ネット入りセメントボード 合板: JAS 1類以上 9.5mm厚以上(20kg/m <sup>2</sup> 超えは12mm以上) けい酸カルシウム板: 比重1.0以上 厚さ6.0mm以上の2枚張り
タイルサイズ	900c㎡超~1200×600mm角
仕上がり寸法	タイル厚+5mm (ビード塗布の場合の接着剤浮かし厚: 5mm以内)
使用接着剤	MS-20 (タイルメント)

- 横上げ高さが1.5mを超える場合は、1.5m以内毎に自重受け金具を設置します。
- タイルサイズが800mm角を超える場合は1枚毎に自重受け金具を設置します。

### ●推奨接着剤: タイルメント MS-20・専用ガン: タイルメント ソーセージガン



用途・性質  
 ▶適用箇所: 屋内の壁面  
 ▶適用下地: コンクリート、モルタル、ボード類 (せっこうボードを除く)  
 ※非多孔質 (金属など) 下地の接着には、使用しないでください。  
 ※床への使用はできません。  
 ▶適用仕上げ材: 陶磁器質タイル  
 ▶主成分: 変成シリコン樹脂系  
 ▶張り付け可能時間: 90分以内 / 5℃ (硬化時間: 72時間以上 / 5℃) 60分以内 / 23℃ (硬化時間: 24時間以上 / 23℃) 30分以内 / 35℃ (硬化時間: 24時間以上 / 35℃)  
 ▶標準使用量: 浮かし厚5mm ビード塗布φ20 4.5~5.3kg/m<sup>2</sup>

JAIA F☆☆☆☆



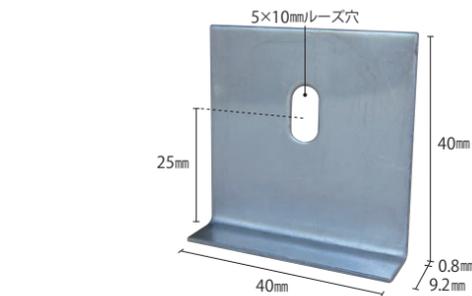
品名	仕様	容量 (本)	使用数量目安 (1㎡当り)	販売単位 (箱)
タイルメント MS-20	灰白色	2kg	2.3~2.7本	9本
タイルメント ソーセージガン	—	—	—	1丁

※ビード塗布 浮かし厚5mmの場合

#### 使用上、取扱上の注意

▶取り扱い場所及び作業場所は通気を充分に行ってください。 ▶降雨時、積雪時および強風時など施工に支障のある場合、ならびにこれらが予想される場合は施工を行わないでください。 ▶石材施工は石材の種類や厚み、使用状況によって汚染の可能性があるので予め事前確認を行ってください。 ▶接着用途以外に絶対に使用しないでください。 ▶5~35℃の環境で使用・保管してください。 ▶気温が5℃以下、および5℃以下になることが予想される場合は原則として施工を行わないでください。 ▶可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意してください。 ▶保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従ってください。 ▶接着剤は皮フに触れたり蒸気を入ると、健康障害や皮膚障害 (特にカブレ) などを起すことがあります。使用時は保護具を着用してください。 ▶開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。 ▶接着剤は空気中の湿気と化学反応して硬化する為、雨露にあたって湿った状態で保管されますと品質低下の原因となりますので避けてください。 ▶直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管してください。 ▶子供の手の届かない所に保管してください。 ▶使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行ってください。 ▶使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気の良い場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。 ▶目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けてください。 ▶誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けてください。 ▶皮フや衣服に付いた時は洗い落としてください。 ▶誤飲防止と食品への混入を避ける為、保管場所は食品と区別してください。 ▶使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託してください。 ▶河川・湖沼・下水道などへ流入させないでください。 ▶詳細内容が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照ください。 ▶MS-20をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読みください。

### ●大形タイル用自重受け金具 ZKK-1



品名	材質	㎡必要数			販売単位 (箱)
		300角	400角	600角	
ZKK-1	ステンレス SUS304	11個	7個	3個	50個

●コンクリートビスφ4mm (皿頭) が同梱されています。

大形タイル用自重受け金具 ZKK-1  
 ¥13,500/箱 (50個入り)

## ●大形タイル有機系接着剤貼り (内装壁) 施工方法

- #### 1 下地の検査、調整、清掃

タイル貼りに先立ち、下地の浮きの有無、密着性・強度を確認してください。コンクリート下地は施工後2週間 (冬季は4週間) 以上養生し充分乾燥していることを確認してください。コンクリート下地の不陸調整は、JIS A 6916 のCM-2に適合する既成調合モルタルを使用し調整してください。下地の汚れ、レイトス等の接着上有害な付着物は取り除き、モルタルとコンクリート下地との良好な接着強度を確保してください。内装壁組みはJASS26 内装工事 JASS11 木工事 (日本建築学会)・JIS A 6517 建築用鋼製下地の使用を標準とします。木造下地: 間柱間隔は455mm以下とします。鋼製下地: スタッド間隔は、ボード1枚張り300mm以下 ボード2枚張り及びガラス繊維ネット入りセメントボードは450mm以下とします。ボードの欠けやひび割れは事前にチェックして補修を要請してください。ボード間の段差など面精度に注意してください。床などの端部に接する部位は10mm程度の縁を切ってください。  
 ※伸縮目地は3~4m毎に設置します。  
 ※吸水調整材やシーラーには接着剤が付きませんので、接着剤が直接触れる箇所には使用しないでください。
- #### 2 自重受け金具 積み上げ高さが1.5mを超える場合は、1.5m以内毎にL型の自重受け金具を設置します。タイルが800角を超える場合、タイル1枚毎に設けます。(2個以上/枚) 補助金具 高さ3m以上の場合は緊結鋼線もしくは緊結鋼板による補助金具を併用します。緊結鋼線 ステン線 SUS304 (形状 0.6mmφ×325mm) 緊結鋼板 ステン板 SUS304 (形状 幅15mm×長さ75mm 0.5mm厚) コンクリートビス φ4×32mm ボード下地用金具 (外径 6.7mmφ 内径 4mmφ×全長38mm)
- #### 3 有機系接着剤の塗布

ソーセージガンのノズル先端を吐出口内径が約20mmφとなるようにカットしてください。タイルへ、ビード状になるよう塗布 (垂直方向) します。タイル端部よりビード中央まで50mmの間隔をとり有機系接着剤を塗布し、浮かし厚を5mmとしてください。ビード間隔は600角未満は約60mm、600角以上は約80mmとしてください。

※上材端部よりビード中央迄 50mm以上の間隔 をとり塗布
- #### 4 付着の確認

躯体側にタイルと同量の面積となる有機系接着剤が付着していることかつタイル裏面に対して接着剤の付着率が60%以上であることを確認します。
- #### 5 目地直し

接着剤の貼り付け可能時間内に目地直しを行ってください。
- #### 6 タイルの清掃

接着剤が硬化後、カッター等で接着剤が薄くなるまで削ってください。残った接着剤は、砂消しゴム等で削って除去してください。硬化前は、有機溶剤 (シンナー、アセトン) で除去できますが、接着剤が広がって薄く残り、タイルの汚染を引き起こす場合がありますのでご注意ください。
- #### 7 養生

タイルの貼り付け後、接着剤が硬化するまで夏季1日以上、冬期は3日以上外力が加わらないように養生します。
- #### 8 目地詰め

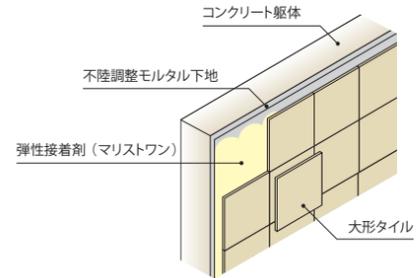
・タイルのズレがないこと。有機系接着剤が硬化していることを確認します。  
 ・バックアップ材等を使用し目地が落ち込まないようにします。  
 目地詰めを行います。伸縮調整目地部、サッシなど他部材取り合い部分をシーリング施工します。入隅・他部材取り合いは幅10mm以上のシーリングとしてください。

# 施工ガイド

## 大形タイルの施工・推奨工法 **[外装壁]**

### 『全面弾性接着剤貼り工法』

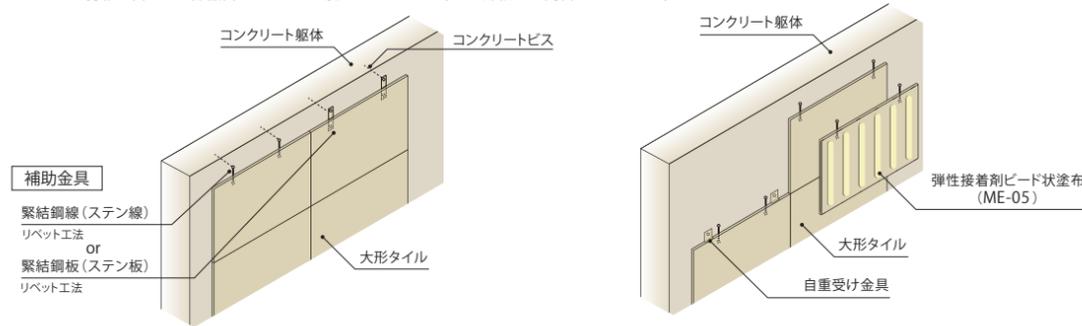
精度良くこしらえたモルタル下地の上に、挙動追従性の高い弾性接着剤を5mm高さのクシ目コテで塗布後、貼り付けていく工法です。養生後は目地詰めをします。寒冷地以外ではオープンジョイントも可能です。建物エントランス周辺やファサード等の外壁に適した工法です。



適用範囲	
施工高さ	—
下地条件	RC造 不陸調整モルタル下地 (下地精度3mm/1m以内) S造 押出成形セメント板 (フラット板)
タイルサイズ	900c㎡以下 (300mm角など)
目地幅	3mm以上
仕上がり寸法	タイル厚 (9~13mm) +1~3mm
推奨接着剤	マリストワン

### 『大形タイル有機系接着剤貼り工法』

コンクリート下地の上に、前もって補助金具を付けたタイルの裏面へ挙動追従性の高い有機系弾性接着剤を塗布し押し付けて貼り付けていく工法です。下地にはあらかじめタイル割りに合わせ、タイル自重受け金具を固定しておきます。目地材はシーリング目地 (変成シリコン) もしくは外装用セメント系目地材 (推奨:タイルメントCG-512) とします。\*ワーキングジョイント、打継ぎ目地など伸縮目地をまたいだ施工はできません。 \*詳細はお問合わせください。



適用範囲	
施工高さ	3m以下
下地条件	RC造 コンクリート S造 押出成形セメント板 (フラットパネル t=60mm以上)

●積上げ高さが1.5mを超える場合は、1.5m以内毎に自重受け金具を設置します。

タイルサイズ	300mm角~1200×600mm角
仕上がり寸法	タイル厚+5mm (ビード塗布の場合の接着剤浮かし厚:5mm以内)
使用接着剤	ME-05 (タイルメント)

●タイルサイズが800mm角を超える場合は1枚毎に自重受け金具を設置します。

### ●推奨接着剤:タイルメント ME-05・専用ガン:タイルメント ソーセージガン



用途・性質  
 ▶適用箇所:屋外の壁面  
 ▶適用下地:コンクリート、モルタル、パネル類  
 ※非多孔質 (金属など) 下地の接着には、使用しないでください。  
 ※床への使用はできません。  
 ▶適用仕上げ材:陶磁器質タイル  
 ▶主成分:変成シリコン・エポキシ樹脂系  
 ▶張り付け可能時間:50分以内/5℃ (硬化時間72時間以上) 30分以内/23℃ (硬化時間24時間以上) 20分以内/35℃ (硬化時間24時間以上)  
 ▶標準使用量:浮かし厚5mm ビード塗布φ20 4.5~5.3kg/m<sup>2</sup>

JAIA F☆☆☆☆

JAIA 4VOC 基準適合

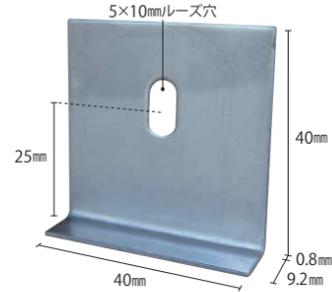
品名	仕様	容量 (本)	使用数量目安 (1㎡当り)	販売単位 (箱)
タイルメント ME-05	灰白色	2kg	2.3~2.7本	9本
タイルメント ソーセージガン	—	—	—	1丁

\*ビード塗布 浮かし厚5mmの場合

#### 使用上、取扱上の注意

▶取り扱い場所及び作業場所は換気を充分に行ってください。▶降雨時、積雪時および強風時など施工に支障のある場合、ならびにこれらが予想される場合は施工を行わないでください。▶空気の対流が少ない箇所で使用すると、湿度、温度などの条件により、臭気が残る可能性があります。▶接着用途以外に絶対に使用しないでください。▶品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないでください。▶5~35℃の環境で使用・保管してください。▶気温が5℃以下、及び5℃以下になることが予想される場合は原則として施工を行わないでください。やむを得ず施工する場合、仮設暖房、保温等により養生を行い施工面が5℃以上になるようにしてください。▶可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意してください。▶保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従ってください。▶接着剤は皮に触れたり蒸気を吸入すると、健康障害や皮膚障害 (特にカブレ) などを起すことがあります。使用時は保護具を着用してください。▶開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。▶接着剤は空気中の湿気と化学反応して硬化する為、雨露にあたって湿った状態で保管されますと品質低下の原因となりますので避けてください。▶直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管してください。▶子供の手の届かない所に保管してください。▶使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行ってください。▶使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気の良い場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。▶目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けてください。▶誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けてください。▶顔軟防止と食品への混入を避ける為に、保管場所は食品と区別してください。▶使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託してください。▶河川・湖沼・下水道などへ流入させないでください。▶詳細内容が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照ください。▶ME-05をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読みください。

### ●大形タイル用自重受け金具 ZKK-1

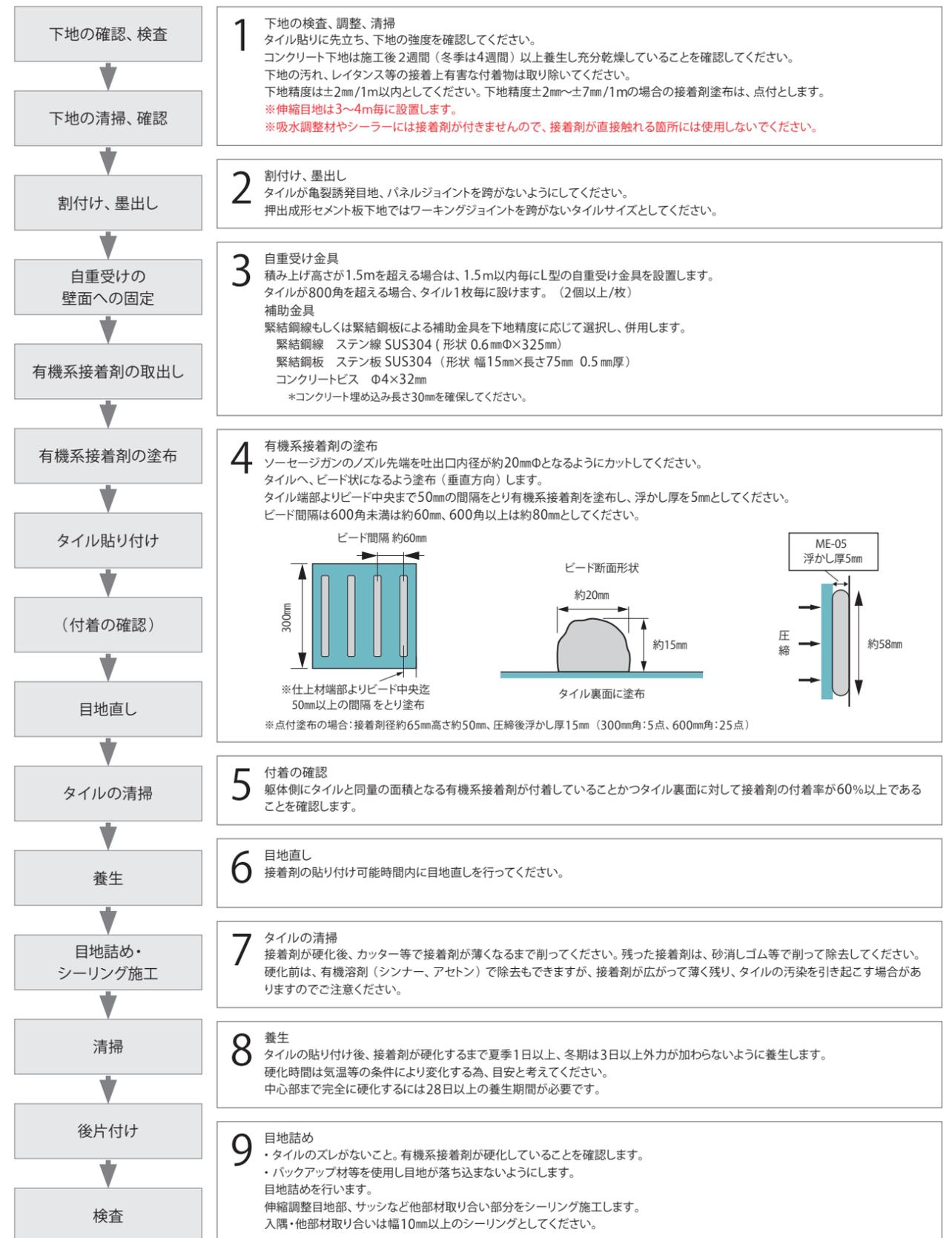


品名	材質	㎡必要数			販売単位 (箱)
		300角	400角	600角	
ZKK-1	ステンレス SUS304	11個	7個	3個	50個

●コンクリートビスφ4mm (皿頭) が同梱されています。

大形タイル用自重受け金具 ZKK-1  
 ¥13,500/箱 (50個入り)

## ●大形タイル有機系接着剤貼り (外装壁) 施工方法

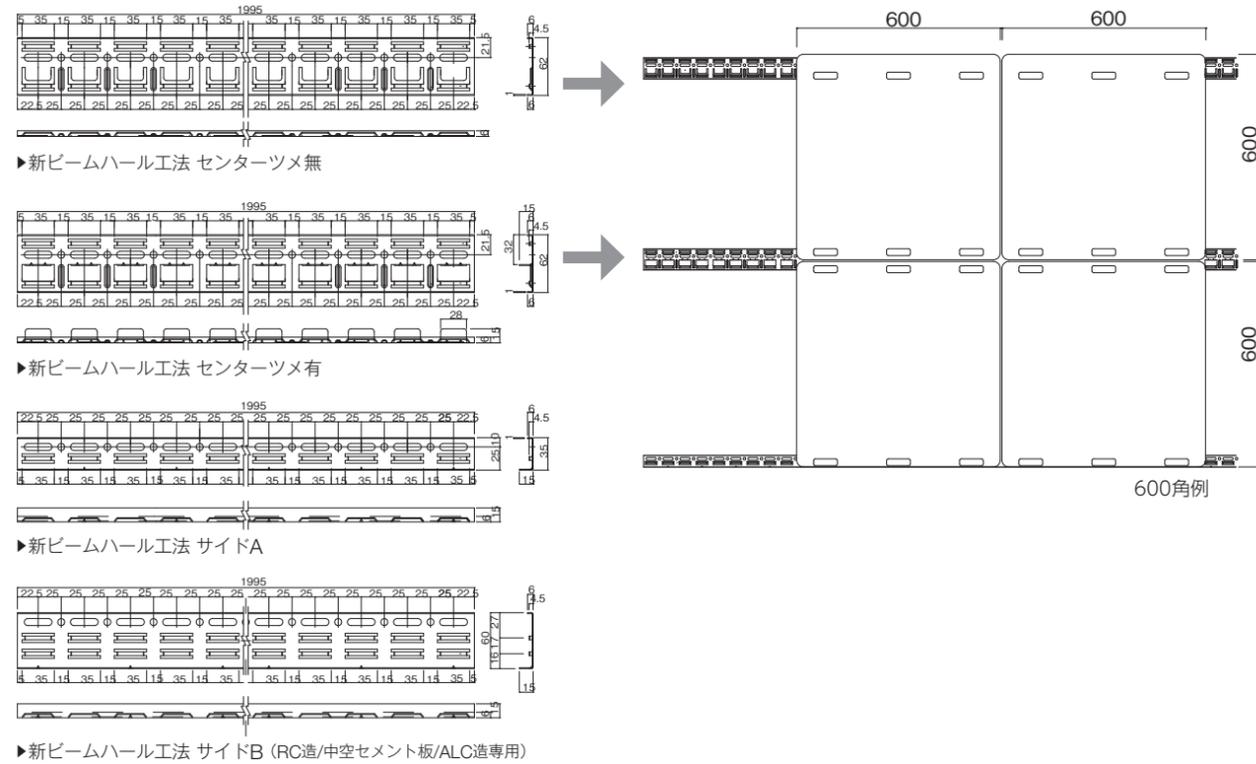


# 施工ガイド

## 大形タイルの施工・推奨工法

HI-TAK結合システム『**新ビームハール工法**』 高さ300~600mmまでの薄い石材、タイルの施工方法です。

### ●工法概要図



### ●施工手順



墨出し後、構造体に合わせ専用ビス・アンカーを選択し、躯体に基盤を確実に取り付けます。1㎡あたり15本以上のビス・アンカーを使用してください。

タイル1枚につき4点~8点程度接着剤が基盤に確実に絡むように塗布し、タイルをもみ込むように貼り付けます。

接着剤は必ず弾性接着剤を使用してください。  
推奨品: オートンビーム1500ソフト (ポリウレタン系弾性接着剤、専用ガンあり)

目地はシーリング、目地材等で行ってください。

### 新ビームハール基盤

	㎡必要数			材質
	300角	400角	600角	
新ビームハール センターツメ無	1.67本	1.25本	0.84本	ZAM SUS
新ビームハール センターツメ有				
新ビームハール サイドA				
新ビームハール サイドB				

※ZAM (高耐食溶融メッキ鋼板)、SUS (ステンレス)  
※取付には専用ビス・アンカーを使用してください。(P.354)  
※必ず基盤取付前に現物のタイル寸法をご確認ください。

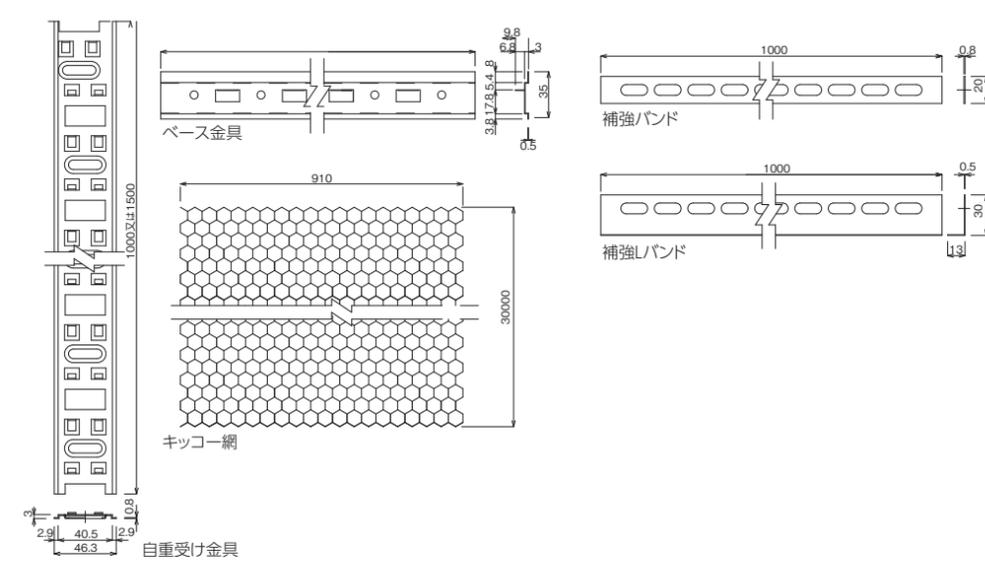
### 推奨接着剤、専用ガン

品名	仕様	容量 (本)	使用数量目安 (1㎡当り)	販売単位 (箱)
オートンビーム1500ソフト	グレー・ホワイト	600ml	1.5~2本	10本
専用ガン	—	—	—	1丁

HI-TAK結合システム『**新シュタールネット工法**』 タイル・石材のサイズに合わせて (H=50~200mm) 受け金具が設定できる施工法です。

※受注生産品

### ●工法概要図



### ●施工手順



墨出し後、構造体にキッコウ網をステップル等で仮止めた後、専用ビス・アンカーを選択し、自重受け金具を確実に取り付けます。ベース金具を自重受け金具のセンター部で3mm以上の間隔を空けながら取り付けます。1㎡あたり10本以上のビス・アンカーを使用してください。

コーナー部はベース金具の凸部分を切断し折り曲げます。階層エキスパンション部や開口廻りには、Lバンド、補強バンドを使用してください。

貼付モルタルまたは接着剤がキッコウ網に確実に絡むように揉み込みながら貼り付けてください。

目地込みは、タイル貼り後2日以上経過した後、セメント系又はシーリング等で行ってください。

### 新シュタールネット基盤

名称	寸法 (mm)		材質
	幅	長さ×厚さ×つめ (全出幅)	
ベース金具	910mm	30×910×0.5×6.8 (9.8)	ZAM SUS
	1000mm	30×1000×0.5×6.8 (9.8)	
	1200mm	30×1200×0.5×6.8 (9.8)	
自重受け金具	70mmピッチ	46.6×1000×0.8 (3)	
	75mmピッチ	46.6×1000×0.8 (3)	
	102mmピッチ	46.6×1500×0.8 (3)	
	152mmピッチ	46.6×1500×0.8 (3)	
300mmピッチ	46.6×1500×0.8 (3)		

※ZAM (高耐食溶融メッキ鋼板)、SUS (ステンレス)  
※受注生産品の為、納期は通常1ヵ月程度必要となります。  
※50㎡以下の場合製作上、割増価格になります。お問い合わせください。  
※取付には専用ビス・アンカーを使用してください。(P.354)  
※必ず基盤取付前に現物のタイル寸法をご確認ください。

### 新シュタールネット副資材

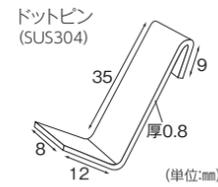
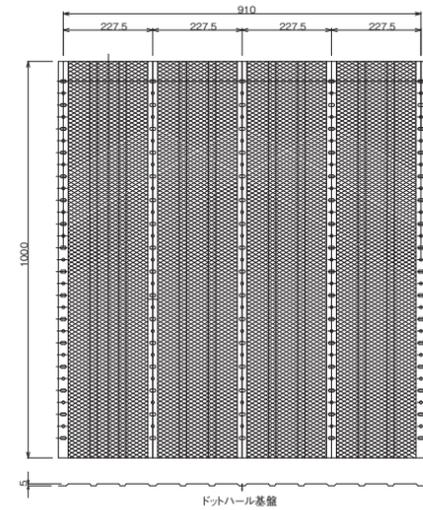
名称	寸法 (mm)	材質
キッコウ網	ロール W=910mm L=30m	SUS
補強バンド	20×1000	
補強Lバンド	13-30×1000	

## 施工ガイド

### 大形タイルの施工・推奨工法

HI-TAK結合システム『ドットハール工法』 乱形など異形状に対応した施工法です。

#### ●工法概要図



#### ドットハール基盤

名称	寸法(mm)	㎡必要数	材質
	幅×長さ×厚さ×つめ(全出幅)		
ドットハール基盤	910×1000×0.4×5(5)	1.1枚	ZAM・SUS

※ ZAM (高耐食溶融メッキ鋼板)、SUS (ステンレス)  
※ 取付には専用ビス・アンカーを使用してください。(下部参照)

#### ドットハール副資材

名称	寸法(mm)	㎡必要数	材質
ドットピン	35×12×0.8	39個	SUS

#### ●施工手順

##### ドットハール基盤を構造体と緊結



墨出し後、構造体に合わせ専用ビス・アンカーを選択し、躯体に基盤を確実に取り付けます。1㎡あたり15本以上のビス・アンカーを使用してください。基盤を落ち着かせる為にφ4×10～16mm程のビスで1枚につき6箇所程度仮止めを行ってください。

##### 接着剤で外装材を固定



色、大きさのバランスを考えタイル・石材を割付しドットピンの割付位置に墨出しをします。タイル・石材の裏面に接着剤を1～2箇所点付けをドットピンの上へのせ、基盤に接着剤が確実に絡むように、揉み込みながら貼付けます。接着剤は必ず弾性接着剤を使用してください。  
推奨品: オートンビーム1500ソフト(専用ガンあり)

##### 目地加工及び仕上げ



目地パック等を使用して、モルタル目地材を詰めていきます。目地材の硬化を確認した後、竹べら等で余分な目地材をかき落としながら仕上げしていきます。タイル・石材の表面に付着した目地材はブラシ等で除去してください。

#### 副資材 HI-TAK結合システム基盤取付専用ビス(標準基盤取付専用ビス)

品名	材質	サイズ(mm)	ねじ込み深さ(mm)	引抜強度(N)	せん断強度(N)	使用数量目安(1㎡当り)
木造専用ビス	SUS	4.2×75	40	3822	3724	15本以上
鉄骨C形専用ビス	SUS	5×30	23	3694	3694	15本以上
ALC(100mm以上)	SUS	4.5×55	55	890	539	15本以上
RC用プラグ	SUS	6×45	30	1274	2450	15本以上

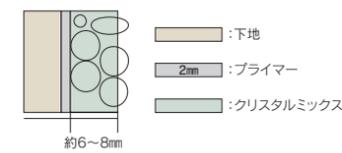
※HI-TAK結合システム基盤取付には専用ビス・アンカーを使用してください。 ※構造体および仕上材の単位重量によっては、標準外基盤取付専用ビスを使用してください。

### クリスタルインレイ(左官タイプ)の施工(商品ページP.222)

#### ●商品仕様

サイズ(缶)	本体重量(骨材+カラーセメント)	下塗り材重量(プライマー)	総重量
12kg缶	12.0kg	2.0kg	14.0kg
25kg缶	25.0kg	4.0kg	29.0kg

#### ●参考塗厚



#### ●参考施工面積

	基準商品塗厚	12kg缶	25kg缶
壁	6mm	約0.63㎡	約1.3㎡
床	8mm	約0.5㎡	約1.04㎡

※上記塗厚は標準を示したもので、±1mm程度の誤差があります。  
※上記施工面積は標準塗厚で施工した場合の参考数値です。  
実際の塗厚によって施工面積は変化します。

※施工時の気温条件について(冬場):10度以上推奨、5度以下での施工はお避けください。  
養生期間中に氷点下になる可能性がある場合、暖房等で温度管理を行い氷点下にならないよう管理ください。

#### ●下地確認

- ①左官が可能な下地(コンクリート・セメント面、珪カル板、テラクリートなど)を確認してください。  
※ボード下地(石膏ボードや合板)の場合は、事前処理が必要です。  
シーラーや繊維入りポリマー系セメント等での下地調整を行ってください。
- ②下地の凸凹や欠損部は事前に補修してください。
- ③継目や出隅・入隅は、ファイバーテープとバテ等で割れ防止の処理を行います。

#### ●施工要領

- ①プライマー(下塗り材)を適量の水で攪拌していきます。  
撥水剤が含まれていますので、なじむまで時間がかかります。水の入れ過ぎに注意してください。
- ②本体(骨材+カラーセメント)を適量の水で攪拌していきます。  
ハンドミキサー等を使用し、骨材が均一に混ざるよう攪拌してください。  
良く混ぜたことを確認した後、2分程度養生します。  
※骨材は梱包内では均一に混ざっておりません。一度に使い切らない場合は、骨材のみを事前に均一に混ざらせるよう混ぜてください。

	プライマー		本体(骨材+カラーセメント)	
	重量	水重量	重量	水重量
12kg缶(14.0kg)	2.0kg	0.5~0.55kg	12.0kg	1.10~1.30kg
25kg缶(29.0kg)	4.0kg	1.0~1.10kg	25.0kg	2.30~2.70kg

- ③プライマーから施工します。塗厚を2mm程度で均等・平滑に施工してください。
- ④プライマーが硬化する前に(夏場:約3~5分、冬場:約5~10分)本体(骨材+カラーセメント)を攪拌施工します。  
骨材が均等に広がるように、一定の圧力をコテにかけながら、平滑に施工してください。  
※塗厚が厚いと、拭き取り仕上げ後のガラス粒が表面に露出しない場合がございます。



#### ●道具の準備

1	コテ	押さえゴテ、仕上げゴテ、切り付けゴテ、レンガゴテ、木ゴテ等
2	練り樽・バケツ	大きめの練り樽を用意してください。その他バケツ数個
3	ハンドミキサー	750回転以上のもの
4	養生材	養生シート、ブルーシート、マスキングテープ、マスキータープ等
5	その他	ハケ類、水くみ柄杓、万能柄杓、タッカー、コテ板、カッター、ドライバー、ひび割れ防止用メッシュテープ等

- ④特に表面の埃は注意深く取り除いてください。
- ⑤下地の乾燥が激しい、熱を持っている場合は、スプレーなどで加湿し多少湿らせた状態にしてください。
- ⑥下地の材質に合わせて調整剤を予め塗布してください。

- ⑤表面が少し乾き、締まりだしたところでコテで骨材を押さえレベルの調整を行います。  
強く押しすぎると骨材が転がる等の施工不良の原因となる為、ご注意ください。
- ⑥セメントが完全に硬化してしまう前、且つ骨材に触れても動かなくなった事を確認し(目安は季節・天候により15分~1時間程度)水で湿らせたスポンジで拭き取りを始めます。  
表面を撫でるように拭き取り、カラーセメントの拭き残しがないよう数回繰り返します。
- ⑦施工後、半日~1日の養生を目安に乾燥させてください。
- ⑧表面が綺麗な事を確認し、汚れ防止の為に撥水剤など保護剤を塗布する事をお勧めします。